

# 平成18年度 入学試験問題

## 社 会

### 第 1 回

|||||【注 意】|||||

試験時間は理科とあわせて60分です。(11:10~12:10)

問題は1ページから9ページまでです。

解答はすべて解答用紙に記入してください。

解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。

|||||



洗足学園中学校

1 次の文章は、環境問題を研究する著者が農業の大切さについて書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(文章には一部ふりがなと注をつけています。)

風薫る五月の田植えどき、日本列島は水を張って一面の湖だ。

例えば加賀白山をいただく手取川中流部、石川県鶴来町の獅子吼高原に立てば、眼下に開ける手取川(ア)扇状地の見事さにあなたは圧倒されるだろう。川には霞堤(注)が連なり、そして平野は一面の水である。なるほど日本の平野とは洪水の通り道。水を受け入れる水田であればこそ、そこを土地として利用できたのだということも実感されるに違いない。

もしもあなたが(イ)立山黒部観光の帰りなら、宇奈月町の愛本橋のたもとに立って下流を見るとよい。狭い黒部峡谷を抜けて一気に開ける(ウ)黒部川扇状地。その見事さに、やはり心奪われることだろう。そして注意してみれば、この川も霞堤が連なっている。

風薫る五月の田植えどき、もしもあなたが(エ)羽田空港へ向かう機上の人であったなら、眼下に広がる関東平野を見下ろしていただきたい。

(オ)関東平野は水浸しで、まるで湖のようだ。利根川のあの長大な連続堤防がなければ、どこまでが川でどこまでが陸地か、見当もつかないほどだ。

この水が地下水になり川の水になる。この水が我が家の蛇口の水になる。そしてまた、この水のお陰で関東平野は沈まないで済んでいるのだと、私はいつも思うのである。

関東平野に限らない。この季節、(カ)濃尾平野も(キ)大阪平野も筑後平野も、もう日本中の平野という平野は水浸しである。都市化と(ク)減反の進んだいまでさえそうなのだ。昔はどれほど水浸しだったろうか。

国土面積の7割を占める上流の(ケ)地帯は緑のダム。そして下流平野は水田のダム。日本列島は文字どおり水の列島ではないか。それが今日まで、私たちがこの国土に生きのびてくることのできた秘密だったのである。(中略)

農業が水を使うということは、実は水を作り出すことなのである。日本のように滝のような急流の川では、放っておけば水は海に捨てられてしまうところを、農業用水が川を堰き止め、水を引いて、広大な面積、大地に水を張り付けてくれる。大地に張り付けてこそ、それは地下水になり川の水になる。それが私たちの使う水資源なのである。都市が水を「消費」するのは正反対である。もしも農業が水を使わなくなったなら、日本列島はその分、水資源を失うのだ。(中略)農業とはそういう存在なのである。

(富山和子『環境問題とは何か』より)

(注)霞堤…洪水の被害を少なくするため間隔をあけて堤防をつくり、間の空地を一時的な遊水池として利用する堤防のこと。

問1 下線部(ア)の扇状地について説明した文としてふさわしくないものを、次の

①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 川が運んできた砂や小石が堆積する扇形の傾斜地である。
- ② 扇状地の中央部は水はけが悪いため、果樹園や畑に利用される。
- ③ 盆地の周辺に多く見られる地形である。
- ④ 扇状地の先端の低地には湧き水が出るため、水田や集落が多く見られる。

問2 下線部(イ)の立山黒部について、立山や黒部峡谷は日本アルプスとよばれる山脈のひとつに連なっています。この山脈の名前を答えなさい。

問3 下線部(ウ)の黒部川の上流には水力発電用のダムがあります。日本における発電について説明した文としてふさわしくないものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 急流の多い日本の川は、水力発電用のダムをつくるのに適している。
- ② 一般的に火力発電所は建設にかかる費用が水力発電所より安いが、大気汚染などの公害をひきおこすことがある。
- ③ 現在、日本では原子力による発電量が水力による発電量を上回っている。
- ④ 多くの原子力発電所は、たくさんの電力を必要とする大消費地の近くに建設されている。

問4 下線部(エ)の羽田空港に関して、羽田空港が面している東京湾やその周辺について説明した文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 高度経済成長期に、東京湾の臨海地域が次々に埋め立てられた。
- ② 横浜市と木更津市を結ぶ東京湾アクアラインがつくられた。
- ③ 東京港は名古屋港と並び、自動車の2大輸出港である。
- ④ 現在、羽田空港での貿易額は成田空港に次いで国内2位である。

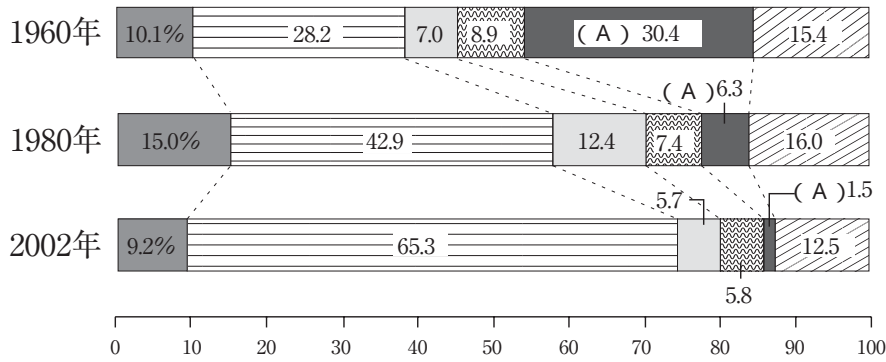
問5 下線部(オ)に関して、関東平野ではこのような水田風景が見られるだけでなく、近郊農業もさかんです。関東平野で近郊農業がさかんな理由としてふさわしいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① せまい耕地から多くの収穫をあげるために、二期作をおこなっているから。
- ② 関東地方の人口が増加するのにともない、農業をおこなう人口も増えているから。
- ③ 大消費地に近いので、輸送費用がおさえられ、新鮮なまま出荷できるから。
- ④ 航空機などの交通機関が発達し、他地域に短時間で輸送できるから。

問6 下線部(カ)の濃尾平野に関して、次の[資料]は名古屋を中心として濃尾平野や岡崎平野にかけて広がる中京工業地帯の産業別出荷額割合の変化を示しています。グラフ中の(A)が示している工業の種類を、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

[資料]

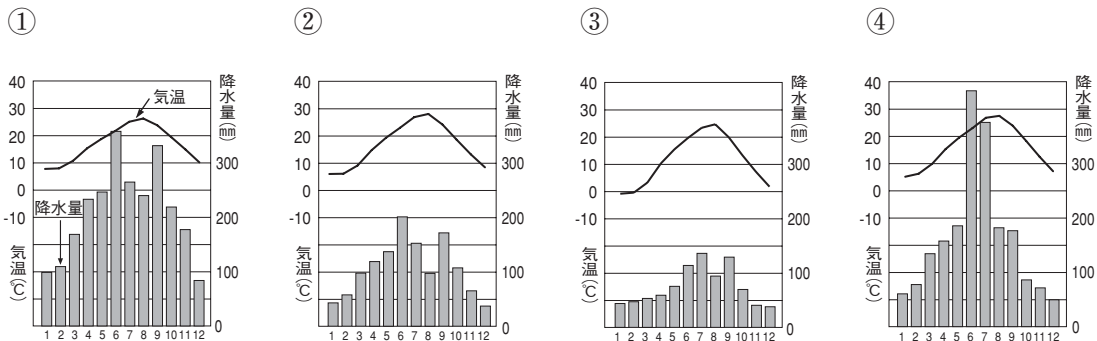
中京工業地帯の産業別出荷額割合の変化



(『日本国勢図会』より作成)

- ① 食料品      ② 金属      ③ 化学      ④ 繊維

問7 下線部(キ)の大阪平野に関して、大阪平野に位置する大阪市の月別の平均気温と降水量を示しているグラフを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。



(『日本国勢図会2005/06年版』より作成)

問8 下線部(ク)の減反に関して、1969年以降の日本で減反政策がおこなわれた理由は、米が余るようになったためです。米が余った原因のひとつとして、1995年まで、国が生産者から米を買い上げて消費者に販売するという制度が行われていたことが考えられます。この制度を何といいますか、答えなさい。

問9 空らん(ケ)にあてはまる語句を、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 森林      ② 湿原      ③ クリーク      ④ デルタ

2 次の文章は、大阪を旅行してきた先生が、生徒たちにその旅のことを話したものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

1 日目は、新大阪駅に着くと、まず豊中市の椋橋総社に行きました。鎌倉時代に倉橋荘という荘園があった所で、後鳥羽上皇がこの荘園の地頭の交代を鎌倉幕府に求めたことが、(ア)承久の乱のきっかけとなったのです。

午後は大阪城を見学しました。天守閣は、(イ)大阪の陣の時に燃えてしまい、(ウ)1931年に建て直したものです。大阪城のすぐそばには、孝徳天皇と聖武天皇が移り住んだ難波宮のあとがあります。まだ少し時間があつたので、(エ)聖徳太子が建立したといわれる四天王寺も見学しました。

2 日目の午前中は大阪市内を歩いて史跡を見学しました。中央区の北浜には、1875年に大久保利通が木戸孝允、板垣退助と会議を開いた場所があります。この会議をきっかけとして、(オ)憲法に基づく政治をおこなっていく方針が打ち出されたのです。北区の天満には(カ)大塩平八郎がつくった塾がありました。北区の太融寺は、(キ)9世紀はじめに建立され、平安時代にもっとも栄えました。私がこの寺に行ったのは、愛国社が大会をひらき、(ク)自由党が解散を宣言した場所でもあるからです。

午後は藤井寺市に行きました。梨田昌孝さんというプロ野球選手で、のちには監督にもなった方が、自宅を改築しようとした際、(ケ)旧石器時代の住居あとが発見され、梨田さんは計画を変更して床下に遺跡を保存したのです。また藤井寺市立図書館には、古墳で発見された修羅という、長さが8.8メートルもあるY字型の木製そりが展示されていますが、古墳に使われた大きな石はこの修羅で運んだものと考えられています。

3 日目は堺市を中心に見学しました。(コ)堺は、15世紀に日明貿易の貿易船の発着港となり、江戸時代の前期まで重要な港として栄えました。当時の堀や、江戸時代に鉄砲をつくっていた屋敷、千利休の屋敷のあと、与謝野晶子がうまれた家のあとなどがありました。

また、堺市には大きな古墳がいくつもあります。日本で一番大きい大仙古墳は堺市にあるのです。ゆっくり歩いて1周してみたら、30分もかかりました。途中のマンションの14階から古墳の写真を撮影させていただきました。大仙古墳の近くにある堺市立博物館を見学しましたが、展示されていた弥生土器のなかには、タコを取るためのつぼがありました。大阪のタコ焼きはとてもおいしくて有名ですが、こんな時代からタコを食べていたのですね。

帰りは関西国際空港から飛行機に乗って羽田に向かいました。(サ)関西国際空港は1987年に着工され、1994年に開港しました。

問1 下線部(ア)の承久の乱について説明した文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 後鳥羽上皇は、將軍源実朝を討つよう、全国の武士によびかけた。
- ② 承久の乱後、後鳥羽上皇は幕府によって隠岐に流された。
- ③ 承久の乱後、幕府の力が強まり、莊園領主と地頭との争いが減った。
- ④ 幕府は御家人に、ほうびをあたえることができなかった。

問2 下線部(イ)の大阪の陣について、この時に征夷大將軍だった人物を、姓名ともに漢字で答えなさい。

問3 下線部(ウ)の1931年に関して、このころの日本の経済や産業について説明した文としてもっともふさわしいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 国民総生産が、資本主義諸国ではアメリカに次ぐ第2位となった。
- ② 産業革命が進み、世界最大の生糸輸出国となった。
- ③ アメリカで始まった恐慌の影響を受け、会社の倒産や失業者が増えた。
- ④ 戦争によって好景気となり、造船業や海運業で大きな利益をあげる者がでた。

問4 下線部(エ)の聖徳太子について説明した文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 個人の功績に応じて冠位をあたえる制度を定めた。
- ② 蘇我蝦夷・入鹿親子と協力して政治をおこなった。
- ③ 憲法十七条を制定し、郡司たちに協調の精神を説いた。
- ④ まだ幼かった天皇の摂政として、政治をおこなった。

問5 下線部(オ)に関して、その後実際に憲法に基づく政治のしくみをつくる中心となり、初代内閣総理大臣となった人物を、姓名ともに漢字で答えなさい。

問6 下線部(カ)の大塩平八郎がおこした反乱に関する文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 豊作によって米の値段が暴落し、農民の生活が苦しくなっていた。
- ② 大塩平八郎は、大阪町奉行所の元役人であった。
- ③ この反乱を最後に、一揆や打ちこわしの数は減った。
- ④ この反乱ののち、老中松平定信が政治の改革にとりくんだ。

問7 下線部(キ)の9世紀に、藤原氏は、皇族以外で初めて摂政や関白に任ぜられ、勢力を強めました。天皇から藤原の姓をあたえられ、この藤原氏の祖となった人物を、姓名ともに漢字で答えなさい。

問8 下線部(ク)の自由党について説明した文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① イギリス流の議会政治をめざし、おもに都市の知識人や実業家に支持された。
- ② フランス流の自由主義をとнаえ、おもに農民に支持された。
- ③ 米騒動で寺内正毅内閣がたおれると、この党の原敬が内閣を組織した。
- ④ 桂太郎が首相となると、この党が中心となって護憲運動をおこした。

問9 下線部(ケ)の旧石器時代に関して、岩宿遺跡の発見はそれまでの日本の歴史における常識をくつがえしました。その常識とはどのようなことですか。1行で説明しなさい。

問10 下線部(コ)の堺について、戦国時代のこの都市を説明した文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 浄土真宗の寺院を中心に発達し、その信者である商工業者が多く住んだ。
- ② 有力な商工業者からなる代表者が中心となって町を運営した。
- ③ 戦国大名が天守閣を持つ城を築き、武士や商工業者を集めて住まわせた。
- ④ 大きな寺社を中心に発達し、参詣する人さんけいや商人が集まった。

問11 下線部(サ)に関して、1987年から1994年の間におこったできごととして正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 日韓基本条約が調印された。
- ② 日米新安全保障条約が調印された。
- ③ 湾岸戦争がおこった。
- ④ 国民所得倍増計画が発表された。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今年、日本国憲法が公布されてから60年になります。この憲法は、終戦後の混乱の中で、(ア)大日本帝国憲法の改正という形で成立しましたが、実質上は新しい憲法の制定といえます。

大日本帝国憲法では、天皇は国家元首として国政上の主要な権限をもつと定められており、主権は天皇にありました。しかし、日本国憲法では、主権者は国民であることが明記され、(イ)天皇は日本国および日本国民統合の象徴とされました。また、大日本帝国憲法においては、国民の権利は法律によって制限されていましたが、日本国憲法においては、国民の(ウ)基本的人権は最大限に尊重されることになりました。さらに、この憲法は国民主権の原理を明らかにし、徹底した(エ)平和主義という画期的な内容をもつようになりました。そのほか、大日本帝国憲法には定められていなかった(オ)地方自治についても、日本国憲法は定めています。このように基本的な原則や理念・制度など主要な部分が、大日本帝国憲法と日本国憲法とではまったく異なります。

日本国憲法は、この60年間に一度も(カ)改正されていません。この60年間で、日本は(キ)経済的な復興をなしとげ、国民の生活は豊かになりました。世界的な経済大国となり、(ク)国際社会における役割も重大なものになりました。また、日本の社会そのものも大きく変化し、人々の考え方や生活のしかたも変わりました。そのため、(ケ)人権を守る点からみて日本国憲法にはっきりとは規定されていない新しい事態が起こったり、国際情勢が変化したりして、現状のままでは対応できないと指摘する人々もあらわれてきました。そこで、憲法の改正を主張する声もあります。しかし、一方には改正による国民の権利の制限や日本の軍国主義化などを心配する人たちもいます。どちらの立場にせよ、憲法の議論は日本と世界の国々との将来にかかわりがあるため、国会や国民の間で十分な議論をつくすことが必要といえるでしょう。

問1 下線部(ア)の大日本帝国憲法は、天皇が定め、国民にあたえるという形式をとって発布されました。このような憲法を何といいますか、答えなさい。

問2 下線部(イ)に関して、天皇の国事に関する行為には内閣の助言と承認が必要です。天皇の国事行為としてふさわしくないものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 国会を召集すること。
- ② 政令を公布すること。
- ③ 衆議院を解散すること。
- ④ 国務大臣を指名すること。



問3 下線部(ウ)の基本的<sup>しんがい</sup>人権が侵害された場合には、裁判によって回復をはかることができます。日本の現在の裁判制度にあてはまらないものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 判決に不服があれば<sup>こうそ</sup>控訴や<sup>こうそ</sup>上告ができる。
- ② 行政機関に対する不服申し立ては、行政裁判所<sup>しんり</sup>で審理される。
- ③ 裁判は公正な審理をおこなうため、原則として公開される。
- ④ 裁判所は、法律や命令が<sup>いほん</sup>憲法に違反した内容であるかどうかを判断することができる。

問4 下線部(エ)の平和主義は、具体的には憲法の前文と第9条にあらわされています。第9条に規定されている<sup>じこう</sup>事項としてふさわしくないものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 陸海空軍その他の戦力をもたないこと。
- ② 国の交戦権を認めないこと。
- ③ <sup>へいえき</sup>兵役の義務を課さないこと。
- ④ 国権の発動<sup>ほうき</sup>たる戦争を放棄すること。

問5 下線部(オ)の地方自治に関して、地方自治体の住民には、さまざまな<sup>せい</sup>直接請求<sup>きゅう</sup>権が保障されています。そのひとつとして、住民は地方議会の解散を請求することができます。この手続きについて説明した文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 議会の解散を請求するための署名を集めるには、弁護士<sup>ほっき</sup>の資格をもつ<sup>にん</sup>発起人が必要である。
- ② 議会の解散を請求するには、その地方自治体の有権者の3分の1以上の署名が必要である。
- ③ 議会の解散を請求する署名は、その地方自治体の首長に提出される。
- ④ 法律で定められた数の署名があれば、10日以内に議会は解散される。

問6 下線部(カ)の改正に関して、次の①～④の文は日本国憲法を改正する手続きをあらわしています。これらを正しい順番にならべたとき、3番目にあたるものを番号で答えなさい。

- ① 衆議院と参議院それぞれで、総議員の3分の2以上の賛成により国会が<sup>はつ</sup>発議する。
- ② 天皇が国民の名において公布する。
- ③ 国民投票によって過半数の賛成を得る。
- ④ 内閣または一定数の議員によって改正案が国会に提出される。

問7 下線部(キ)の経済的な復興のきっかけとなったのは、1950年から始まった朝鮮戦争による好景気でした。この好景気を何といいますか、答えなさい。

問8 下線部(ク)に関して、2005年に日本政府がドイツ・インド・ブラジルと歩調を合わせて、国際連合の総会で提案しようとしたことはどのようなことですか、1行で答えなさい。

問9 下線部(ケ)でいう新しい事態としてふさわしくないものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 製造業では、賃金の安い中国や東南アジアに工場が建設され、海外での生産が増加する一方で、国内での生産が減少している。
- ② インターネットの発達にともない、個人のさまざまな情報を悪用する事件が増加している。
- ③ 天下りや税金の無駄づかいなどが明らかになると、行政の情報公開を求める世論が高まった。
- ④ 産業の発達にともない、公害や環境破壊による国民の健康被害が増加している。